

1 【活動の趣旨】

総合的な学習の時間での支援に関わって、子ども達が地域に愛情をもち、将来地域のために活動できるようにどのような学習活動をプログラムしていけばよいか熟議し、志津のお宝は「自然」と「歴史」であることをもとに系統的な学習を仕組んでいこうと確認し、学習したことをこども環境会議など地域に発信していく。

2 【特徴的な活動内容】

(1) 4年総合的な学習の時間「里山学習」

4年生の総合的な学習の時間の「森林からのおくりもの」に関連して、地域に在住の大学教授が自宅の里山を教材に学習を支援していただいた。4年生は「やまのこ」学習もしているので、子ども達も木の名前などもよく知っており、地域にある森林に興味を持って学習を進めることができた。また、竹を燃やしてできる竹炭づくりなどを通して、環境問題に関心を持つこともできた。



【里山学習】

(2) お米感謝祭（田んぼの学習）

例年5年生では、地域の方に田んぼを借りて、田植えや稲刈りを体験させて頂いている。今年度は、コロナ禍も明けたので、いつもお世話になっている方に来ていただいて「お米感謝祭」を行った。収穫したお米でおにぎりを作り、食に感謝すると共に、いつもお借りしてる地域の方にも改めて感謝の気持ちを持つことができた。



【お米感謝祭】

3 【実施に当たっての工夫】

長かったコロナ禍がようやく明け、子ども達が地域に出かけ学習することも少しずつ増えてきた。4年生の里山学習の他にも、2年生の町探検、3年生の「志津のお宝発見」など地域に実際出かけ、地域の方から話を聞くことを心掛けた。「志津のお宝発見」では、志津の歴史と文化をまなぶ会の方に来ていただいたおかげで、地域の企業である日東電工に特別に見学させてもらうこともでき、子ども達も地域の人に対しても愛着を持つことができた。

4 【事業の成果】

地域の人と関わり地域のことを学ぶ中で、地域に対する愛情も芽生えてきた。学んだことをそれぞれ発表する活動を通して、志津の宝である「自然」や「歴史」を子ども達が意識して守っていこうとする態度が深められた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

総合的な学習の時間を3年生から6年生まで系統的に計画し、地域協働合校との取組を連携するようしてきた。学校評議員のメンバーの方にも講師になって頂き、学校評議員会で熟議した内容を意識して話してもらっている。今後は、学んだことをいろいろな学年で地域に発信していきたい。